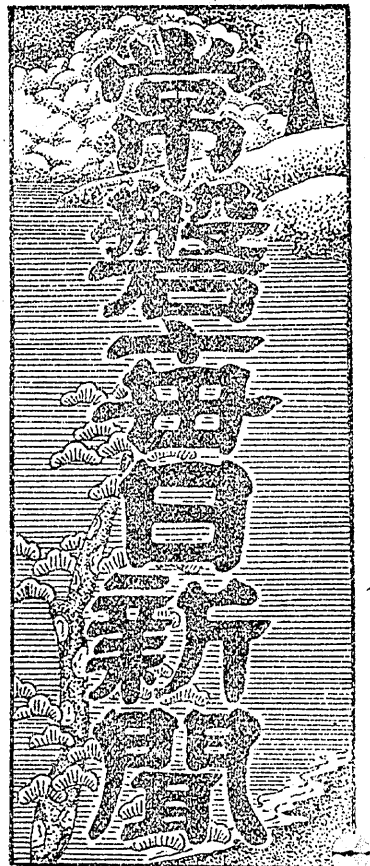


【刊夕】日十三月五



原五銀郵 錢十五月一 錢貳金部一 價定
錢十五行一 語字三十號五 料告廣
治 文 壽 川 人 刷 印 人 掛 編 兼 行 發
五三町 橋長町 平郡城石 縣島福
番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
社會式 社 刷 印 日 每 警 常 所 刷 印

阿彌と釋尊

眞 繼 雲 山

佛教を大別し自力他力の三門とある。自力門とは望者のゆく道であるから望道門といふに對して、他力門とは微力な自分の力でゆくことの出來ぬ凡夫が如來の本願といふ他力に乘托して淨土にゆき、彼の土において證悟を得るといふのであるから淨土門といふ現代に若し者聖があるなら聖道自力の道を進むもよいが既に聖者でありとすれば、その以上別にゆくべき道はないといふことにもなる。佛教とは無上の真理の教へに外ならぬのであるから、眞實の聖者の歩む道ならば、それがそのまゝ佛道である。現代には、どうも左様な聖者がありさうに思はれぬとして見れば、末法の現代に適應する教へは淨土門だけといふことにもなる。

かぬそれが他力門である。自力門とは自分の力で修行して佛となるの教へであるが、その佛に成ることが難事だとすれば、むしろ既に成つた佛は何をしてをるかさうしてその成つた佛とは如何なるものがあるかを見る方が早道である。

成つた佛としては阿彌陀佛があるそれは世自在王の教へを受けて兆載永劫の修行により、法藏比上が佛と成りたさうな姿である。その阿彌陀佛を信知するが他力門である。自力門とは人間としての最高無上の完成を意味する。他力門とはその完成を及び

難しとして見切りをつけ超人間の生命の力に生かさせてもらうことの體驗を意味する。私たちは自ら稼ぎ三度の飯を食うて自分の力で生きてゐるのだとも考へられるが夢は寝てゐる主人公の存在によりて有り得る、寝てゐる當人なくして夢のみ存在することはない。夢にして既に然りとすれば私たちの背後に何等か大きな力なしとは言ひ得まい。その背後の大きな力を自力門では眞如と考へ他力門では如來の本願力と申す。

釋尊の立場からいへば、阿彌陀佛は釋尊の理想の展開全景であるも、阿彌陀佛の方からいへば、釋尊も亦た阿彌陀佛の誓願力の一顯現といふことになる。

春惜しむ

渡 邊 何 鳴

晩春の金雀花こぼす風雨かな
木蓮に鳥光り消え暮の春
惜春や組紫きの花鳥書譜
春逝くや黄蝶沈みしセロリ鳥
かりそめのこの世の春を惜しみけり

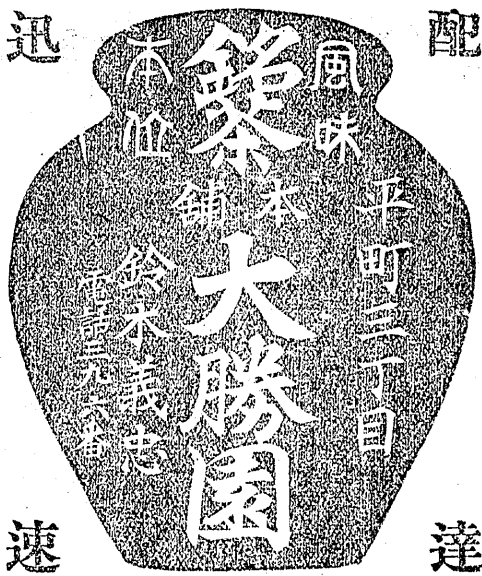
産婆開業

私事三井鑛山株式會社湯本鑛業所に開業致して居りましたが今般左記の所に轉居開業致しました何卒御引立を御願申上げます

安全に
努めます

御困りの御方には無料で御扱ひ致します
平町田町五十二番地(安齊外科醫院人口角)

産婆 白石テル
(呼)電話六五三番



配 達
本場新茶走賣初メ申候 一斤 一圓五十錢
花壺新入着

廣告

電話特別開通受付開始

- 一、受付期間 六月一日ヨリ六月十日迄
- 一、設備費 金四百圓(外ニ加入登録料金拾圓)
- 一、受付場所 平郵便局窓口
- 一、申請書用紙ハ當局窓口ニテ差上げマス
- 一、詳細ハ窓口又ハ電話第四〇〇番へ御問合せ下サイ

平郵便局

毎度 御引立を戴き有難う御座います。

營業改善のため週日程皆様へ御迷惑を及しました。本日より從前通り開始致しましたから倍舊の御愛顧を偏重に御願致します。

平驛前

イワキタクシー

電 六五九六
六三二九 香

京都日傘

- 粹なバランスとスカーフ
- スマートな中折 それと
- 明朝百プロのYシャツ

モリタヤ洋品店

5丁目 電話 353

荒川精一儀本日葬送の際は遠路に不拘御會送被下殊に御香奠を辱ふし難有奉存候早速拜趨御厚禮可申上處混雜中に付乍略儀紙上不取敢御禮申上度如斯に御座候
昭和六年五月三十日

- 男 荒川 晃一
- 親族總代 荒川 恒次郎
- 友人總代 山崎 清三
- 諸橋 久太郎
- 柴田 徳二
- 大平 芳介
- 酒井 喜代正
- 永山 勇吉

亂れざる時代の英雄は悲し

弔 けふ荒川中尉の告別式に際して

永山勇吉氏朗讀

割腹自殺を遂げた陸軍中尉荒川精一氏の葬儀は既記の如く本日午後二時久保町泉藏院に於て盛大に執行されたが故人と生前最も深交ありし永山勇吉氏の朗讀せる弔辭左記の如く言々句々友を想ふ熱情に溢れ聞く者をして暗涙に咽ばしめた

謹んで我等の畏友荒川精一君の靈に告ぐ。
君は去五月十八日、俄然井上藏相邸爆破事件巨頭被疑者として、

警視廳に拘引され廿日漸やく該事件に何等の關係なきこと判明し、余と共に歸宅せり。然るに越えて廿二日各新聞紙は一齊に、君が割腹自殺の記事を掲ぐ余初め信ずる能はず、その詳しきを知るに及んで茫然たり、廿五日の黎明、醫藥途にその効なく、濫垂としてこの世を去る。余はこの訃報に接し、君の寫眞を抱いて君が郷里の土を踏めば萬感胸に迫りて足動かず、眼を故山の風物に轉ずれば一木一石ただ君の思出ならざるものなし。嗚呼悲しき哉。回顧すれば、君は去大正九年惜しまれし軍職をすて、再び笈を負ふて

友のために喜び、天下の苦樂を以て己れの生命をなすが如し。君は身を政界に投じてより苦闘既に十有余年、其間或は印度に遊び、南洋に行き度々支那滿蒙の地を視察し我國將來の極東政策に對しては大經綸を提げて屢々我外交を鞭撻し。特に田中内閣の當時に於ては、首相を補佐して南舟北馬、着々と其の功を積み、今や漸やく政界の風雲に座して、將に爲すあるの日を待望されつゝありし秋、

部下と

訣れ、翻然として志を政界に立つ。蓋し君克く天意を解したるものと云ふべき邪。君の天才たる、既に中學時代より、聖賢ニチエの哲理を体得し大西郷の愛に感激し、ナポレオンの勇に私淑し、恒に省みてその修養を怠らざりき、蓋し我等の母校警中の歴史に於て、君の如く強き印象を先輩に與へ、大なる敬慕を後輩に垂れたる者は未だ曾てこれあらざるべし特に君が故山の

風物を

偲び、郷黨知友を懐かしむの熱情に至りては余、未だ曾て君の如き人あるを知らざるなり、君は曾て下宿屋の一室に親しく貧困の苦闘を味ひつゝ、ありし當時に於ても、友來れば即ち財布を叩いて酒を酌み、口を開けば必ず知人の安否を尋ね、目を閉じて遙に故山の風物を想望し、友の動靜を冥想す宛も己れの困苦は之を知らざるもの、如く、常に人のため泣き

ものぞ悲しい哉君今や亡し血涙を呑むと雖も感慨轉々禁する能はざるなり今君の靈前に立ちて永別の辭を捧ぐれば、颯爽たる君の偉余の眼前に髣髴す。一度君に接するものは、その風貌に無限の親しみを覺ゆ一度苦樂を共にしたる者は君に無限の信愛を感ず。偉なる哉その人格、懐かしき哉その風貌。今やその人亡し、

卒然として

逝く。痛恨何ぞ之れに過ぎん。君が今日の偉大なる個性と人格との完成に、苦闘し來れる過去四十有一年の半生は、常に君のみの期待に問ふべきものにあらざるなり。喜びを共にし、悲しみを分かち樂みを君に期待し、苦しみを君に負托し來れる者それいくばくぞ。然るに今や幽明境を異にし、叫べども君應へず。叫べども君歸らず嗚呼君なき後

我等の

余生は、誰と苦樂を共にせん哉。喜亂れて英雄顯る、亂れざるの時代に於ける。英雄は悲し、我等は只管君が大成するの日を待望して止まざりしも今はた、亂れざる時代に於ける英雄の悲哀を悲しむのみ。君亡き後、今余の心邊に去來するものは、昔君と下宿屋の一室に、酒を酌み唄を歌ひし書生時代の思出のみ。榮耀富貴を何する

ものぞ悲しい哉君今や亡し血涙を呑むと雖も感慨轉々禁する能はざるなり今君の靈前に立ちて永別の辭を捧ぐれば、颯爽たる君の偉余の眼前に髣髴す。一度君に接するものは、その風貌に無限の親しみを覺ゆ一度苦樂を共にしたる者は君に無限の信愛を感ず。偉なる哉その人格、懐かしき哉その風貌。今やその人亡し、

千萬言を

盡して哀哭す。嗚呼悲しい哉。さり乍ら余は靈魂の不滅を信ずるの形骸は今だ一縷の煙として我等の心懷に宿り、我等の血となり肉となりて永く現世に止るべし、我等が君を想起する時、死すとも尚君

活けるが

如く、君の永劫記して忘れざるべし、在天の英靈希くは之を饗けよ。維時昭和六年五月卅日

島根鳥取へ

木炭視察に濱三郡木炭同業組合では六月中旬頃島根鳥取兩縣に於いて行はれてゐる木炭の縣營狀況を視察の爲左の視察員を派遣すると

- △第一支部、渡邊重三郎(植田町)菊地壽七(川前村)
- △第二支部、今野信之(津島村)高原甚藏(木戸村)
- △第三支部、鹽谷雄周(原町) 小野田文治

土木業者が

平町役場へ陳情 土木業者は失業救済の目的から總ての工事を直營制度にされては不況の折柄ます窮地に陥ると二十八日伏見平町長に陳情書を提出した

木炭大會出席

六月二十四日より二日秋田市に於いて開催される北海道東北六縣木炭業者大會に濱三郡木炭同業組合からは左の出席者がある筈

- 鈴木良吉(瀧田村)大里金丸(平)鯨岡義助、大越三吉(久ノ濱町)村田松之助(小高町)長谷清五郎(中村町)草野保谷(赤井村)早川清久(富岡町)

平町人事

- △長橋町廿八卷榮市氏二女和子
- △新川町一 直根井藤馬氏三男功
- △東京市赤坂區中ノ町二〇 眼鏡製作業 大島秋光氏(二七)
- △長崎町三八 市川メ子(二四)
- △材木町三八 當時東京府下南葛節郡小松川町字平井官吏 郡司榮太郎氏(五一)
- △埼玉縣児玉郡旭村字下野堂 秋山フミ子(三一)

出生

- △長崎町廿八卷榮市氏二女和子
- △新川町一 直根井藤馬氏三男功
- △東京市赤坂區中ノ町二〇 眼鏡製作業 大島秋光氏(二七)
- △長崎町三八 市川メ子(二四)
- △材木町三八 當時東京府下南葛節郡小松川町字平井官吏 郡司榮太郎氏(五一)
- △埼玉縣児玉郡旭村字下野堂 秋山フミ子(三一)

満鮮土産談(聖) 川崎小鳥

◇体中の寝むさを全部、しぼり出して、寝むらうと努めたが、もう眼が冴えて

寝むれない、夜も明け初めた事だからと、そろ／＼起き上つたが、頭が上段の寝臺に、ぶつつかるので、龜の子の様に首を縮めながらヤツとの事でズボンをはき上着を付けた

◇向ふ側の支那人先生も矢張り、起き仕度にとりかかる、此先生、僕を何んと思つたのか、部厚な近眼鏡の陰から、鵜の目鷹の目で僕をジロ／＼と、見上げ見下すのである、その眼ざしは憎悪そのもの如く、光つて居る、「日本人だなんて、威張つたつて駄目だぞ、此處へ來れば、もう貴様等の勢力範圍ではないんだ、ざまあ見やがれ」と其の眼が毒つく

◇斯ふなると、僕も負け手前、居ない「ふざけるな、尻ぬぐえばかりさせやがつて、第一今だつて獨り歩きが出来る國じやあるめえ此のトンチキ奴」と僕の眼が、應戦する

◇僕と彼れ氏支那人との間には、お互ひに目にも見せてくれんと、視線と視線の大衝突が始り、日支親善は正に破れて、國交は斷絶の危機に頻し、風雲益々急である

◇茲に於てか、僕なるもの豈癪にさはらずして得べけんや、何か一つ度ギモを抜いて、鬱憤を晴らしてやり度いと、そろ／＼中段から下へ降り掛けたが、見れば、彼れ氏は、外した眼鏡をふきながら、それでも

未だまばゆえ様なドロンとした眼を見開いて、相變らず僕を睨んで居る

◇戦機既に熟せりと、僕はアクビとも、歌とも、氣合ともつかぬ叫びを、いきなり「フツ」と擧げたものだ、處がガチャリと音がするので、振り返つて見ると彼れ氏は僕の此の奇聲に驚いたらしい、不覺にも、手に持つて居た眼鏡を取り落した、然も其下にはブリキの痰吐きがある。此のハルビン列車内の痰吐きといふのは、トテツも大きくいのである。「ガチャリ」といふ音は、其中へ眼鏡が落ちた音だ

◇僕は、支那人先生の狼狽振りを見ると、今度は先づの憤慨も忘れて、イヤどうも、お可笑いのお可笑いないつて我慢がならない、而しまさか面と向つて笑ふ譯にもゆかないので、耐えに耐えるんだが、笑つてならぬと思ひば、思ふ程、お可笑さはコミ上げて來る。

産科 婦人科 井坂醫院 町田町平 電話五五九番

文藝募集

姿勢を正しく

舉手注目の禮

警中生の敬禮法改る
汽車通學には委員制

縣立磐城中等學校にては橋本校長赴任以來生徒の規律訓練に留意し大いに改善を圖る處あつたが更に六月一日から校外に於ける學生間の敬禮は脱帽敬禮を廢して舉手敬禮に改める事となつた是れは從來の帽子の口さしに手を懸けて首を曲げるといふ様な形式的でなく相手を直視し姿勢を正しする事の出来る上から舉手の禮に改めたものであると尙校外取締りの上に種々の

事故を防止する爲列車通學を万部分けとなし委員を置いて自治的に警戒する事となつた由

鯛を漁獲

今年初めて

豊間大敷網では二十八日匹八百匹から一貫目位の鯛約四百貫を漁獲したが、今年初めての大漁で水揚相場は二十割昨年比に比し約三四割方の安値である

今度今度 キノランの キヤラバン来る

堂々廿餘臺を連らね
夜は發聲映畫の會

日本自動車界に於ける一方の雄たる日本ゼネラルモーター會社では四月上旬自動車の移動展覽會を組織し四月十七日大阪本社を出發關西關東を巡回非常な名譽を博しつゝあつたが愈よ同キヤラバン隊は貨物車、乗合消防車、撒水車等二十餘臺のシボレー自動車を進らねて堂々と平町に乗り込み翌四日には元平警察署跡にて一般の觀覽に委せ夜は七時より聚樂館に發聲映畫の會

近く完成

工費十七萬圓

石城郡江名町では中之作漁港を總工費十七萬餘圓を以て修築すべく過般東京より石川博士を囑託實地調査の上同計畫を進めて縣費補助の交付を申請中であつたが六年度に補助金交付漏れとなつたので同地の死活問題

であるとし専ら大會を開き善後策を協議した結果いよ／＼自力を以て改築することに決し農漁村救済資金を借受け工事に着手したことは既報の如く殆ど大半まで進行を見てゐるこれが完成は来る七月上旬頃の豫定であるが右工事のみでは徹底せず更に八間の築堤延長工事をなすべく廿八日有志會を開き漁港の延長工事の完成を期することに決した

平第三學藝會

平町第三小學校では二十九日父兄懇談會を催し第一時間は見學第二時間かんは學藝會第三時間かんは家族連絡の懇談を行つた

渡邊書記退職

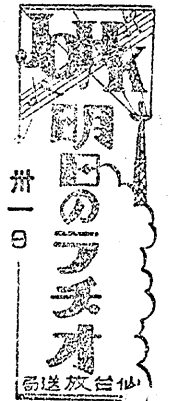
在職廿三年
平町役場書記渡邊太次郎氏は明治四十三年三月以來同役場に職を奉じ滿二十二年二月勤続し登記農商戸籍の各主任を兼務し來つたが去る二十八日付を以て退職した後任者は農商主任か渡邊一統計主任か松田賢雄戸籍主任が古河清水の各書記と決定した

縣教育總會

警中に開く
縣教育會總會は六月六、七兩日磐城中等學校で開く

石標柱竣工

石城八坂神社へ献納
郡内郷村大字御座字上宿消防小頭野木力氏は平町八坂神社へ自費三十圓を投じ石標柱



報豫氣天

今晩は南西の風
晴一時曇り明日
は南の風晴時々
曇り

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間)
「子供の研究したお話三つ」(蛙を育て)仙臺市連坊小路小學校兒童六年

佐山好(宮千代)同佐藤朝香(蟻の智慧と働き)同日

後六、三〇 英語講座「中等科第四講の三」牧一

後七、〇〇 全國ニュース
官廳ニュースを含む
北新報社ニュース 氣象

通報告知事項 番組預告
後七、二五 趣味講座「振

遠隊遠征道開一本山桂川
後八、〇〇 放送舞臺劇

「新歌舞伎十八番内伊勢
三郎」市川九藏其他大勢

後八、五〇 全國ニュース

を建設中であつたが廿五日
工事竣工したので同日献納

山火事の被害多く

平署組頭を招集協議
平署管内に於ける山火事に
よる被害は毎年相當な額に
達するので六月三日午後一
時より平署では管内消防組
頭を招集此が對策の協議及
びガソリン唧筒の試験を行
ふ筈

生産費に對し

八九分の利潤
石城郡内の蠶況は目下八分
方三眠前後で早さは四齡三
日目で經過は比較的良好
であつて當初の警戒から桑
葉は多少の過剰をみる模様
であるが相場は昨今の沼津
市況である三圓二三錢方

差引き借金

詐欺の告訴
石城郡内郷村大字宮草野金
四郎は同郡泉村芳賀大吉か
ら十九圓を借用したが今度
は芳賀が前記草野から五十

無免許で手数料

女中奉公に世話
石城郡磐崎村字湯長谷居住
崎玉縣北崎玉郡葉生町生れ
三田金作(三)は無免許で同
村字上湯谷阿波谷重八長女
マサ子(五)を廿日東京府下

四倉小頭任命

四ツ
倉消防では川又八重吉氏部
長に宮澤光朝氏長谷川義雄
同長三郎各氏何れも小頭に
今回任命された

津文字喜和外

(新三絃曲大楠公)酒井明
鳳外
(新内良寛さん)岡本文彌
外
(新尺八と管絃合奏)金澤
成和音楽團
後三、四〇 氣象通報
後三、五〇 經濟市況
後六、〇〇 (子供の時間)
ラデオ風呈、漫畫クラブ
KK子供サークル
後六、三〇 趣味講座「劍
道の話」高野弘正
後七、〇〇 全國ニュース
河北新報社ニュース-氣
象通報 告知事項 番組
預告
後七、二五「洋樂の夕」合
唱 中央混聲合唱團
(獨唱)北澤榮
(ピアノ)獨奏 小倉末子
(獨唱)天田部勤吉
後九、〇〇 (管絃樂とヴ
ァイオリン) 東京府佐原
町新交響樂團より中繼
後九、四〇 時報 氣象通
報 番組預告 告知事項

外科

内臟外科 醫學士
整形外科 松永憲一
外科一般

平新川町十九

木村病院

産婦人科院長從前通り診療

外務職員 招聘

眞面目に自己の將來を想ふ方は實際に契約者本位の優良會社に勤務する事が唯一の方策であることを特に深く尊重すべきであります此要件は保險外務の従事員にとつては殆ど絶對的であることを斷言して憚りません

時代は刻々に進展し人は益々眞剣に優秀を嚴選す選びに應ずる事實的資格如何が問題中の問題やがて運命の鍵肝要なり第一歩の

希望者は左記へ御申出を乞ふ

第一生命保險相互會社

平町駐在

監察員 大柴 尊 二

平町舊城跡十一番地

貸切の!!

御用命はゼヒ

電話三九五番

芹澤自動車商會

タクシ一部

貨物運輸部

外科

X光線科
性病科
外科

入院隨意

平町田町

安齊外科醫院

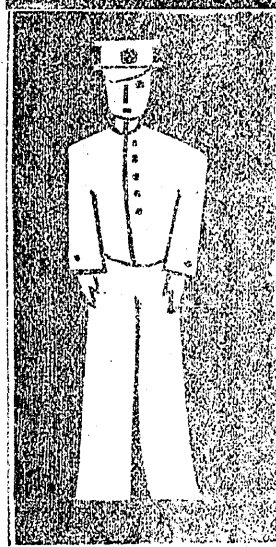
電話四七五番

夏の通學服

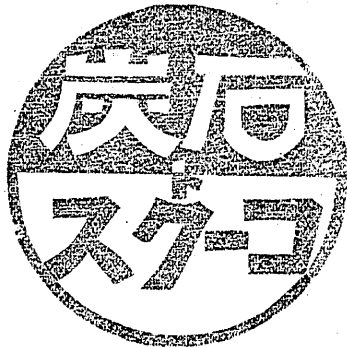
本店特製の霜降小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

小學生用 45.00
同(特製品)..... 1.00
中學生用..... 2.00

なかや洋服店 平二電203



ナールほど、是レハ良イ石炭ダ
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ
聞イテ居タガ!
此レ程良イ石炭トハ



思ハンカツタ

品ガ良ク

値ガ安ク

經濟的ニハ正ニ

百パーセントダ

モシク電話二三七番デスカ

早ク一俵御届ケ下サイ

平停車場前



阿部石炭商店

◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

梅毒 淋病

淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病 腸虫病 十二指

院醫科 腸胃病 胃性病 村松 平南町 七〇一話電

不思議膏

奇妙に良くきくハリグスリ

神経痛、かたのこり

うらみ、くちき、リ

ウマチス、齒痛

ハツテ御覽なさい

驚くばかり特効あり

特約店 小野屋藥店

平町四丁目 電話一四四

移轉致しました

五月一日ヨリ

張舖店

平町大田通(元福住旅館跡)

ハシモトヤ系店

郵便受函の設置に就いて

郵便受函をお取付け下さい、朝早くから、夜に入つても配達する郵便物を確實に、迅速に、お受取下さる爲めに!

御商賣の關係や御勤めなどの都合で、配達が或は起床前に一なるときは止むを得ず或は就寝後に一戸障子の隙間から郵便物を投入する爲めに、散亂、紛失等の事故を起し易く、また夜間は御手渡しする爲めに御睡眠を妨げる事となり、或は配達を翌日廻とする様なことも有勝です。ですから人の出入頻繁の家では多人數お集りの御所では是非共、御門のあるお家では御留守居勝のお家では是非共、御門のあるお家では置を特にお勧め致したいと存じます。尙受函自體にも住所氏名を御表示になると共に、集配人の無益の勞力をも省くことになり、此の點是非皆様の御實行を切望する次第であります。

寫遞信局

時代の要求

貴重なる郵便物の爲に 宣傳

配達能率増進の爲に 郵便受函

山林式 呼鈴兼用 呼鈴付 長サ一尺一寸 巾五寸五分 厚サ二寸五分

呼鈴付定價 金貳圓五拾錢

呼鈴無定價 金壹圓五拾錢

遞信局獎勵の主意に添様今回理想的の郵便受函を考案發賣致しました皆様の御利用と御後援を御願致します

本器の特長は

- 一、住所氏名は記入式に成つて居ますから貴重なる郵便物の誤配は絶対に有りません
- 二、完全な錠前を付けてありますから他人に見られる事も紛失の慮れなく不在の時も確實に配達されます
- 三、郵便物の配達されたことは自動的に信號致します
- 四、一家中の御名前が一目了全でありますから一般訪問者の爲めにも非常に御便利であります
- 五、納税書や新聞受函にもなり不在中訪問者の爲めに御利用が出来ます

平郵便局区内一手賣捌所

磐城平五丁目

和洋銅鐵 金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番 九九番 振替貯金口座東京〇〇〇番